



KIN-BALL® sport

■2013 新公式ルール■

★登録人数 一部変更

- ・1 チーム最大 8 人に変更。

★コートサイズ 一部変更

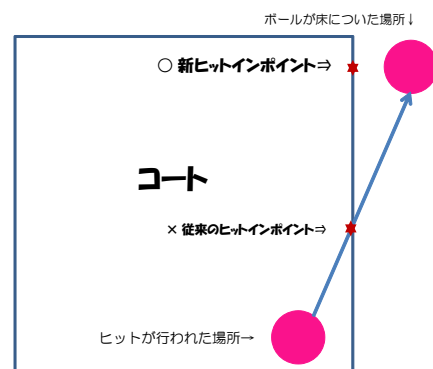
- ・最大 20m×20mに変更。

★公式試合時間、ピリオド 変更

- ・公式試合は 1 ピリオド 7 分とし、2 ピリオド以上で構成。
※日本では 1 ピリオドでの試合も状況に応じて行ってよいものとする。

★アウトサイド 一部変更

- ・ボールが床についた場所に一番近いライン上が次のヒットインポイント（右図：○新ヒットポイント）となる。反則があった時にボールがあった場所からヒットインの原則に基づいている。



★イリーガルディフェンス 一部変更

- ・ヒットの瞬間、ボールから 1.8mの範囲内に 2 人以上のディフェンスチームのプレーヤーがいた場合、反則。
・反則後のヒット権は他の反則と同じ扱いとし、反則チームにヒット権が移る。

★タイムアウト 一部変更

- ・プレーが中断している時のみ、タイムアウトをレフリーに要求できる。どのチームもプレーが中断している時であればタイムアウトをとることができる。
・各チームは 1 ピリオドにつき 1 回、30 秒のタイムアウトがとれる。この間、時計は止められる。
※複数のコートで同時に試合を行う場合、申し合わせ事項として時計を止めない場合もある。

★各ピリオドの最後の 1 分に関する計時 変更

- ・各ピリオドの最後の 1 分は保障されている（反則が起こった時、計時が止まることを意味する）。
※複数のコートで同時に試合を行う場合、申し合わせ事項として時計を止めない場合もある。

※ボディー・アクセス 確認

- ・ディフェンスチームのプレーヤーが、オフェンスチームのボディー・アクセスを尊重せず、接触があった場合、イリーガルディフェンスの反則となる。

ボディー・アクセス:

ボディー・アクセスとは、ボールを持っているプレーヤーの頭上の垂直の空間を指す。幅はプレーヤーの肩幅。座っていてもそのプレーヤーが立ち上がった時に占めるであろう空間のこと。

ルールの確認を希望する人は、2013 年度に全国で 10 回程度予定している日本キンボールスポーツ連盟主催の「指導者講習会」を受講してください。講習日程は随時ホームページ(インフォメーション欄)にアップいたしますのでご確認願います。